

さて、私は現在、花巻神社前のT字路付近に住んでおりますが、結構交通量の多い所です。特に朝夕は、高校生の自転車通学も多いです。先月のある日、花巻駅方面から一日市方面に向かって自転車で走行していた高齢の女性が突如転倒してしまいました。私も思わず駆け付けようとしたのですが、後続していた男子高校生が3名、咄嗟に自らの自転車を停止させ、「おばあちゃん、大丈夫？」と駆け寄って、その女性を抱き起こし、自転車を起こしてくれたのです。幸い怪我もなかった様子で、「大丈夫、ありがとう。」と言って、自転車を押して行きました。私は、高校生達のさりげない優しい行為に胸を打たれました。高校生の自転車走行のマナーはとてもよく、停止してくれている車輛に会釈して横断しています。

しかし、交通安全上、気掛かりなこともいくつかあります。一つは、一日市方面に向かう路上で、左右の路上から出て来た車輛が停止しているにも拘らず、その車輛に接近したところで急に発進してくるといふヒヤツとする場面に遭遇することがあります。また、自転車・自動車の信号無視、左右を確認することもなくマイペースで右左折している自転車も見受けられます。自転車は、自動車のよう

に万が一に備えた任意保険等に加入していないため、人身死亡事故を起こし、一家破産という悲劇的な実例があったことも、心に留めて置いておきたいものです。花巻駅方面からのT字路では、度々一時不停止でつかまっています。

お互いに原点に立ち返って、安全運転の励行に努めたいものです。

平泉世界遺産研修旅行

桜台 北山 六郎

10月26日8時45分、バスは定刻に平泉へ向け出発。

早速、美人ガイドさんから、藤原四代について研修?が始まる。かなりの早口である。

何しろ百年の歴史を20分程度で説明するのだから当然なのかも。

前九年の役、後三年の役、清衡基衡、源の何とか、昔々聞いた事があるような名前が出て来るが、次々と脳から消滅して行く:

義経の名前が出て来た。

牛若丸と弁慶の話は分かるぞと、意気込んでいたら義経北方伝説の話になり、百年の歴史は終わっていた:考えてみたら清衡も、基衡も、見た事も会った事も無い、おまけに八百年以上も前の話、簡単に理解出来無いのが当然と納得する事とした。

当時、平泉は10万人が住む平安京に次ぐ、日本第二の都市だった



紳士・淑女の皆様

と云うから驚いた。

もしも、藤原氏が滅亡していなければ、東北弁が日本の標準語で、あの有名な渋谷より大きな交差点が、平泉の駅前に出ていたかも知れない。うゝん残念

「おのれ頼朝め」

金色堂は、亡き人の極楽浄土と、平和のために建立したと聞くが、当時、参拝が出来たのは、どのよいうな人々だったのだろうか。

今回も、まばゆい光で迎えてくれた金色堂を後に「権力」と「財力」について、考えていたが昼食後には帰りのお土産の事で、頭がいっぱいになっていたのだ。

世界遺産決定から時が経ち、観光客も減少していると聞いたが、



楽しいね~!

◆編集後記

今年の冬は、雪も少なく大変過ごしやすかったです。腰痛・膝痛の私にとって雪かきもなく大変楽をしました。しかし、近頃は暖冬、暖冬と云われており「地球温暖化」が心配されます。

さて、本年度年3回目の「こぶし」も無事発行されました。原稿を寄稿された皆様には原稿の字数・原稿締め切り等、期限を守っていただきありがとうございます。

ご寄稿いただきました皆様やスタッフの方々に感謝と御礼を申し上げ編集後記といたします。

編集長 平澤 明

中国系の方々が多く来ていた。清衡公も、金色堂の中で驚いているかも:いや予見していたかも知れない。

やはり偉大な人だったのだ! 盛者必衰 強者どもが夢の跡